

This is SUEKI

須恵器

2026
3.20(金)
祝
- 6.14(日)

|1|《有蓋高杯》古墳時代（5世紀）愛知県東古渡町遺跡出土／名古屋市教育委員会蔵

|2|《裝飾付台付壺》（部分）古墳時代（6世紀）大阪府南河内古墳出土／堺市考古学研究室蔵（大阪府近畿鳥博物館保管）



古代のカタチ、無限大！

Ancient Vessels, Timeless Forms



兵庫陶芸美術館

The Museum of Ceramic Art, Hyogo

〒669-2135 兵庫県丹波篠山市今田町上立杭4 TEL079-597-3961 <https://www.mcart.jp>

展覧会情報



This is SUEKI 一古代のカタチ、無限大！

1600年ほど前の古墳時代に生まれたやきものSUEKI=「須恵器」。朝鮮半島から伝來した新たな生産技術で始まった須恵器は、その後の日本における陶磁器生産の礎となりました。

須恵器は古墳時代を通して、人々の日常生活や祭祀の場へと次第に浸透していきました。また、古墳時代には古墳で行なわれた祭祀の場、飛鳥時代以降は寺院や藤原京・平城京をはじめとした宮都、古代の役所である官衙など、時代の流れとともに使われる場面も変化し、それに合わせて須恵器も形を変えていきました。さらに、須恵器は東アジアとの交流や日本列島の文化や美意識に合わせて発展を遂げ、多種多様な造形が生み出され、その造形の幅広さからは、古代の社会と古代人の思考がうかがえます。

本展では、古墳時代から平安時代までの約500年間に、全国各地で作られた須恵器の優品を結集し、無限に広がる造形美を紹介します。各時代、各地域で生み出された洗練されたカタチや独特なカタチなどをご覧いただき、古代の人々の創造力に触れていただけましたら幸いです。

展覧会概要

展覧会名称：This is SUEKI 一古代のカタチ、無限大！

英文名称：Ancient Vessels, Timeless Forms

会期：2026年3月20日（金・祝）～6月14日（日）

休館日：月曜日 ※ただし5月4日（月・祝）は開館し、5月7日（木）は休館

開館時間：10:00～17:00 ※入館は閉館の30分前まで

観覧料：一般1,300円(1,000円)、大学生1,000円(800円)、高校生以下無料

※（ ）内は、20名以上の団体割引料金です。

※70歳以上の方は半額になります。

※障がいのある方は75%割引、その介助者1名は無料になります。

会場：兵庫陶芸美術館 展示室1・2・4・5

出品点数：約200件

主催：兵庫陶芸美術館、丹波新聞社

助成：美術館連絡協議会、読売新聞社

後援：兵庫県、兵庫県教育委員会

協力：丹波立杭陶磁器協同組合

※本展は、7月3日（金）～9月23日（水）山口県立萩美術館・浦上記念館で、
10月3日（土）～12月27日（日）東京富士美術館でも開催します。



What is SUEKI?

日本列島には、1万年を超える長いやきものの歴史があります。その中で須恵器は、縄文土器や弥生土器などに続き、1600年ほど前に誕生しました。

古墳時代、朝鮮半島のやきものである「陶質土器」の生産技術が日本に伝わり、須恵器生産が始まります。

「窯業」と呼ばれる丘陵斜面を利用したトンネル状の窯により、

1100°Cを超える高温で焼成できるようになったため、

丈夫で液体を入れても漏れにくいやきものを作ることが

できました。また、ロクロという回転する台も

使われるようになり、整った形を効率的に

作ることができ、洗練された新しい

器形がいくつも生み出されました。



こりゃ
すごい！

- 1 陶質土器 車輪付双口壺 三国時代（5世紀）韓国・新羅または加耶 個人蔵
2 陶質土器 高杯形器台 三国時代（5世紀）韓国・新羅 岡山県将軍塚出土 個人蔵
3 陶質土器 台付壺 三国時代（5世紀）韓国・新羅 愛知県陶磁美術館（高橋芳子コレクション）
4 重要文化財 四耳壺 古墳時代（5世紀）大阪府陶邑窯跡群柵225号窯跡出土 堺市蔵
5 装飾付台付壺（部分） 古墳時代（6世紀）大阪府南塚古墳出土 京都大学考古学研究室蔵（大阪府立近づ飛鳥博物館保管）

同じ時代に生産されていた土師器と須恵器

焼成温度低めの
やわらかいやきもの

火に強い

水に強い

しっかり焼かれた
かたいやきもの

再加熱可能だから
煮炊き具として超万能



はじき
土師器 壺
古墳時代（4世紀）
関東地方出土
愛知県陶磁美術館蔵



ゆうがいたんけいご
有蓋短頸壺
古墳時代（5世紀）
岐阜県出土
名古屋市博物館蔵

水が漏れにくいから
貯蔵具として超万能

土師器は弥生土器の系譜を引き、製作技法や
焼き方も基本的に共通するため、焼き上がりの
様子や淡い橙色を呈する色調も類似します。
胴部には黒い箇所（黒斑）があり、これも
野焼きによるやきもので通常見られる特徴です。

色調は灰色で、土師器にある黒斑も基本的には
見られません。
胴部に施された突線、沈線、波状文からは、
ロクロを駆使した様子がうかがえます。
ロクロの導入は施文の正確性・効率性向上にも
つながりました。

海を渡った技術と文化

4世紀末～5世紀初頭、朝鮮半島から陶質土器の技術が伝わり、日本産の陶質土器＝「須恵器」が誕生しました。この頃の日本列島は古墳時代で、各地で豊富な副葬品を有する古墳が造られていました。古代中国の歴史書や日韓両国の発掘調査の成果から、当時は人とモノの交流が盛んであったことが明らかになっています。

須恵器は朝鮮半島の技術を元につくられているから
朝鮮半島のやきもの（陶質土器）と見た目がそっくり！



とうしつどき たかつきがたきだい
陶質土器 高杯形器台
三国時代（5世紀）
韓国・新羅
岡山県将軍塚出土
個人蔵



たかつきがたきだい
高杯形器台
古墳時代（4～5世紀）
兵庫県前田遺跡出土
兵庫県立考古博物館蔵



とうしつどき ゆうがいたつきそうじばち
陶質土器 有蓋台付双耳鉢（部分）
三国時代（5～6世紀）
韓国・加耶
東京富士美術館蔵



重要文化財
むがいたつき
無蓋高杯
古墳時代（5世紀）
兵庫県宮山古墳出土
姫路市教育委員会蔵

Episode
02

造形のうつりかわり

5世紀に定着した須恵器は、次第に日本列島各地へ拡大し、陶質土器の形を取捨選択しつつ、日本の文化や生活にあわせて変化していきました。7世紀には社会の変革とともに大きな転換期を迎え、奈良・平安時代に連なる新たな器形が登場しました。また、仏教文化の影響も受け、古墳時代とは異なる須恵器の世界が花開きました。

はそう
頸は時代が下ると
頸が長くなつて細くなる

はそう
頸は液体を貯蔵し、胴部に竹筒などを挿して、
中の液体を注ぎ出すための孔を備えたもの。
葬送儀礼用の器として使用されていました。

5世紀



はそう
頸
古墳時代（5世紀）
奈良県川原寺跡出土
奈良文化財研究所蔵

6世紀



はそう
頸
古墳時代（6世紀）
京都府医王谷3号墳出土
亀岡市文化資料館蔵

7世紀



はそう
頸
古墳/飛鳥時代
奈良県明日香池遺跡出土
奈良文化財研究所蔵



5世紀の頸は体部が大きく、「液体を入れる・貯蔵する」という機能的側面が重視されていたと考えられます。6世紀になると体部は小型化し、口頸部が長大化します。こうした変化は、同時期の別器種にも共通して見られる傾向です。この頃、群集墳と呼ばれる小型の古墳が各地でつくられるようになり、須恵器の副葬品としての需要が高まっていました。頸を長くすることで、供献という行為を視覚的に強調する効果があったと考えられています。しかし7世紀になると、体部はさらに小さく、頸部も細くなり、「液体を貯蔵する」という機能はほとんど失われているように見えます。古墳の造営が減少し、それに伴って葬送儀礼用具の需要も低下しました。その結果、頸はさらに小型化し、次第に姿を消していたと考えられます。

仏具も須恵器でつくる

青銅などの金属でつくられていたのが、
奈良時代ごろには、それを模して須恵器でも
つくられるようになりました。



法隆寺・百濟觀音像も
左手でつまんでいます

重要文化財
すいじょう
水瓶
奈良時代（8世紀）
大阪府光明池60号窯跡出土
堺市所蔵



鉄鉢は僧侶が
托鉢の際に使う器

てつぱくがはち
鉄鉢形鉢
奈良時代（8世紀）
福岡県牛頭塚原遺跡出土
大野市蔵

Episode
03

ハレのうつわ

～古墳時代の祭り～

古墳時代には、**祭りや儀礼**に用いるための**装飾須恵器・特殊須恵器**が多様に作られました。同じ器を連ねたものや小像を飾ったものなどがあり、主に副葬品として**死者を弔う場**で使われた特別な器です。なかには東アジアの影響も垣間見られ、当時の国際性を物語る造形も展開しました。

古墳に納められた特別なやきもの



Beyond the SUEKI



がとう
瓦塔
奈良時代（8世紀）
静岡県三ヶ日町宇志出土
奈良国立博物館蔵

7世紀を通じて、古墳時代に盛んに作られた装飾付須恵器や特殊須恵器は姿を消していきました。これは古墳造営の終焉と軌を一にして、社会の変化に伴う須恵器の転換を示しています。

一方、7世紀以降には土馬や瓦塔など、器の機能を超えた新たな祈りの造形が生まれ、祭祀や信仰と結びつきながら須恵器の表現は新たな展開を迎えるました。

須恵器はこうした変化を通じ、日本の陶磁器の基礎として後世へと技術と創造性を伝えていきました。

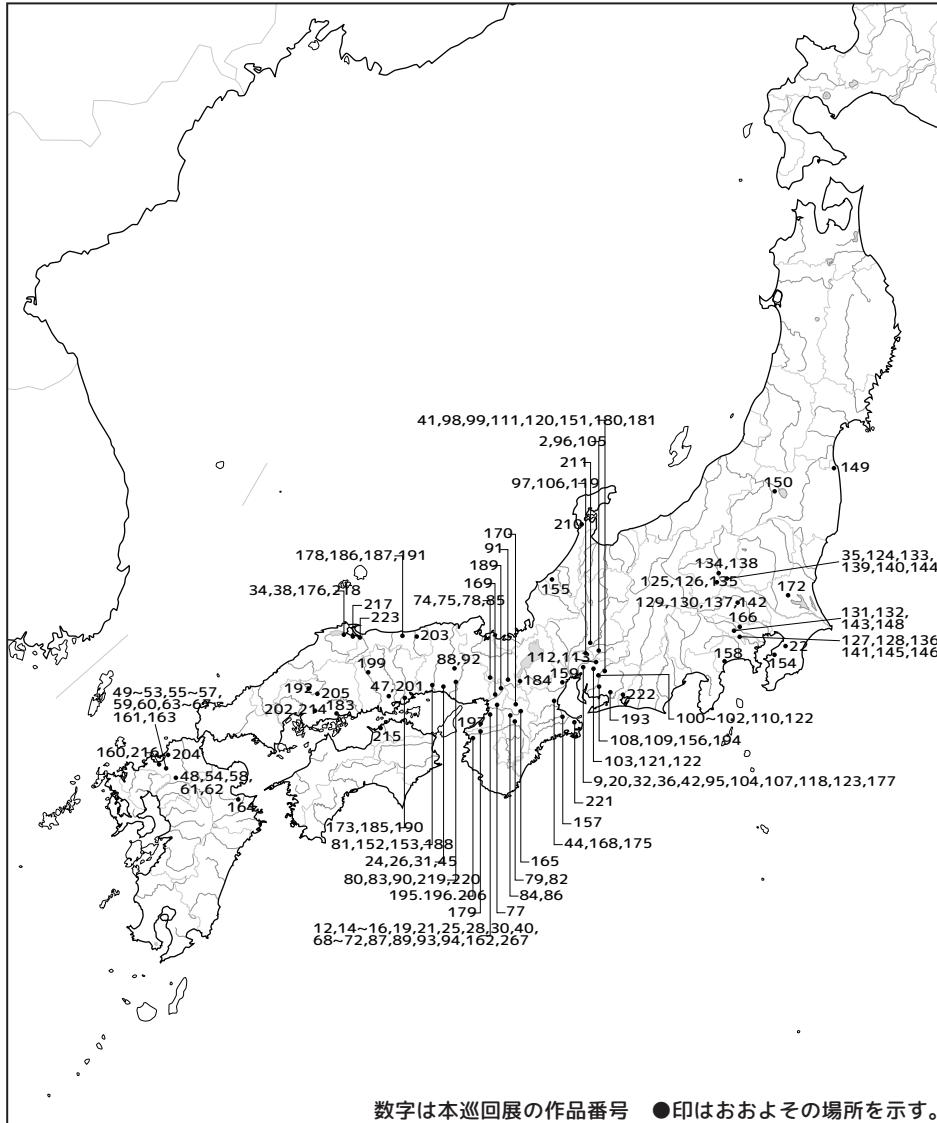
高さ2メートル越え！



どば
土馬
古墳 / 飛鳥時代（7世紀）
鳥取県蔭田隱れ家谷遺跡出土
米子市蔵

見どころ①

全国各地の須恵器の優品が盛りだくさん！



東北から九州まで！

東北



ていへい
提瓶

古墳 / 飛鳥時代（6～7世紀）

福島県相馬市中村曲田出土

個人蔵

古代の水筒？

提瓶は丸い胴部の肩に吊り手がついた携常用の容器で、水筒のようにぶら下げて使用されていたと考えられています。

九州



じゅうそくこ
獸足壺

奈良時代（8世紀）

伝・大分県大分市豊後国府跡出土

個人蔵

多くは骨壺として使われていました

短い頸が付された壺に、3つの獣の足がついています。3つ足とすることで、器としての安定性が高められています。

見どころ②

文化財指定品が盛りだくさん！

指定品36点を展示し、そのうち12点は重要文化財！（一部前期後期で展示替えあり。）



4つのでっぱり、「耳」という

重要文化財

しじこ

四耳壺

古墳時代（5世紀）

大阪府陶邑窯跡群梅225号窯跡出土

堺市蔵



兵庫県の重要文化財

重要文化財

ゆうがいたかつき

有蓋高杯

古墳時代（5世紀）

兵庫県宮山古墳出土

姫路市教育委員会蔵



蓋にも小壺がついています

重要文化財

こもちだいきよんれんご

子持台付四連壺

古墳時代（6世紀）

愛知県豊田大塚古墳出土

豊田市博物館蔵

さらに！

この4件がみられるのは**兵庫会場だけ！**

（前期後期で展示替えあり。）

最古級の窯跡から出土



うつわを乗せるための器

大阪府指定文化財

たかつきがたまだい

高杯形器台

大阪府陶邑窯跡群梅232号窯跡出土

大阪府教育委員会蔵（堺市博物館保管）



古代の船が模されている！

大阪府指定文化財

ふね

古墳時代（4～5世紀）

大阪府陶邑窯跡群梅232号窯跡出土

大阪府教育委員会蔵（堺市博物館保管）



食べ物を盛るための器

大阪府指定文化財

たかつき

高杯

古墳時代（5世紀前半）

大阪府陶邑窯跡群梅232号窯跡出土

大阪府教育委員会蔵（堺市博物館保管）



大きなマグカップみたい！

大阪府指定文化財

とってつきわん

把手付碗

古墳時代（4世紀末～5世紀初頭）

大阪府陶邑窯跡群梅231号窯跡出土

大阪府教育委員会蔵（堺市博物館保管）

陶邑窯跡群の梅231・232号窯は、1990～91年の発掘調査で、

それまで最古といわれていた初期須恵器の窯よりも古い時期のものであることが明らかになりました。

出土した須恵器は、形や文様、作り方が陶質土器の特徴を色濃く残しており、初期須恵器の研究にとって、大変貴重な須恵器です。

見どころ③

古代の謎、未解明なこと盛りだくさん！



**謎の穴、、、
使い方はいまだ謎のまま、、、**

胴部には円窓があけられています。壺の胴部に円窓をあけた須恵器は、愛知県をはじめとする地域でごく稀に見られます。壺部に内容物を入れるには不便のように思えますが、何に用いたか、どのような意味があったかは不明です。

まるまどつきだいつきづぼ
円窓付台付壺
古墳時代（5世紀）
愛知県志賀公園遺跡出土
愛知県埋蔵文化財調査研究センター

上から見ると、
こんな感じ！



これって何に
似てる？

本展最多の小壺と穂

一見すると、小壺と穂はランダムに配されているように思えますが、基本的には上段と下段で交互に置かれています。特異な形をしていますが、古墳の副葬品としてつくられたものです。



こもちづぼ
子持壺
古墳 / 飛鳥時代（6～7世紀）
岡山県札崎古墳群出土
岡山県立博物館蔵

見どころ④

動物や小さな人など、

かわいい やきものが盛りだくさん！



広島県指定重要文化財
かめがたすえき
亀形須恵器
古墳 / 飛鳥時代（7世紀）
広島県一ツ町古墳出土
個人蔵



うしろ姿もかわいい♥

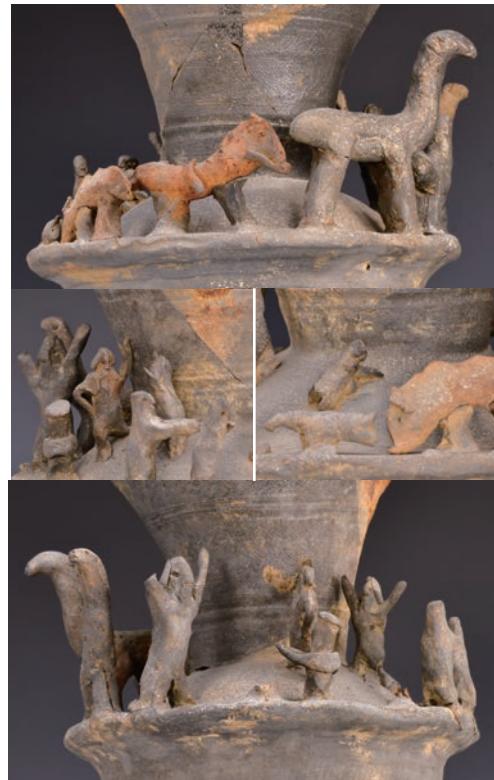


そうしょくつきじはい
装飾付耳杯
古墳時代（6世紀）
和歌山県井辺八幡山古墳出土
和歌山市蔵
(同志社大学歴史資料館保管)

とりがたへい
鳥形瓶
古墳 / 飞鳥時代（7世紀）
岡山県宮浦東千川出土
大阪市立美術館



とりそうしょくつきすえき
鳥装飾付須恵器
古墳 / 飞鳥時代（7世紀）
広島県石塚2号墳出土
広島県立歴史民俗資料館



／ うつわの上では物語が展開する ／

そうしょくつきだいつきば
装飾付台付壺
古墳時代（6世紀）
大阪府南塚古墳出土
京都大学考古学研究室蔵
(大阪府立近づ飛鳥博物館保管)

関連イベント

◆ワークショップ

「再現された古代の窯で須恵器づくりに挑戦！」

開催日：①作陶：4月18日(土) または 19日(日) ②焼成：5月27日(水)～

場 所：①当館工房 ②三木市

定 員：35名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選。)

参 加 費：有料

※焼成にともなう事前の窯詰め、事後の窯出し等、詳細については別途、お知らせします。

◆特別講演会

「須恵器—その用の美と生産者」

講 師：菱田哲郎氏(兵庫県立考古博物館長)

日 時：4月25日(土) 13:30～15:00(開場は13:00)

場 所：研修棟1階セミナー室

定 員：110名(事前申込制、先着順)

参 加 費：無料(ただし観覧券の半券が必要)

◆ギャラリートーク

日 時：3月21日(土)、4月4日(土)、5月2日(土)、5月16日(土)、5月30日(土)、6月13日(土)

いずれも11:00から1時間程度

※各イベントに関する詳細は、お問い合わせください。

お知らせ

◆同時開催のテーマ展

「丹波焼の世界 season10」

3月10日(火)～11月下旬(予定)

◆次回特別展

こども学芸員とつくる「夏のこども美術館」

6月27日(土)～9月6日(日)

◆交通のご案内

[鉄道・バスをご利用の場合]

◎JR福知山線「相野駅」下車(大阪駅から約50分)駅前からウイング神姫(路線バス)「兵庫陶芸美術館」「こんだ薬師温泉ぬくもりの郷」または「清水寺」行き乗車約15分、「兵庫陶芸美術館」下車

※相野駅発バス時刻 9:33、10:15、13:10、15:45

土・日・祝は10:47、11:36、13:41が増便(2026年1月現在)

[自動車をご利用の場合]

◎舞鶴若狭自動車道・三田西ICから約15分、または丹南篠山口ICから約20分

◎中国自動車道・滝野社ICから国道372号を東へ約30分

◎阪神方面から国道176号を北上し、三田市四ツ辻信号を左折約15分

◎駐車場無料(敷地内 普通車58台分)、大型可

【本資料に関するお問い合わせ】

兵庫陶芸美術館

広報担当：企画・事業課 丸山(マルヤマ)

展覧会担当：学芸課 高村(タカムラ)

〒669-2135 兵庫県丹波篠山市今田町上立杭4

TEL: 079-597-3961 FAX: 079-597-3967

E-mail:toge@pref.hyogo.lg.jp URL: https://www.mcart.jp



アクセス



ホームページ



Instagram



Instagram

特別展 *This is SUEKI* ～古代のカタチ、無限大！

2026年3月20日（金・祝）～6月14日（日）

広報画像申込書

送信先 E-mail: togeit@pref.hyogo.lg.jp Fax:079-597-3967

兵庫陶芸美術館 企画・事業課 広報担当宛

ご希望の画像番号にチェックを入れ、以下の項目をご記入の上、メールもしくはFAXでお送りください。

※読者プレゼント招待券は、写真を掲載し本展をご紹介いただける場合に限ります(最大5組10名まで)。

プレゼントの受付・発送などは貴編集部にてお願ひいたします。

□1



重要文化財 《四耳壺》
古墳時代（5世紀）
大阪府陶邑窯跡群梅225号窯跡出土
堺市蔵

□3



《装飾付台付壺》
古墳時代（6世紀）
大阪府南塚古墳出土
京都大学考古学研究室蔵
(大阪府立近つ飛鳥博物館保管)

□5



広島県指定重要文化財
《亀形須恵器》
古墳/飛鳥時代（7世紀）
広島県一ツ町古墳出土
個人蔵

□2



《有蓋高杯》
古墳時代（5世紀）
愛知県東古渡町遺跡出土
名古屋市教育委員会蔵

□4



《装飾付耳杯》
古墳時代（6世紀）
和歌山県井辺八幡山古墳出土
和歌山市蔵
(同志社大学歴史資料館保管)

□6



東広島市重要文化財
《台付環状瓶》
古墳/飛鳥時代（7世紀）
伝・広島県丁田南古墳群出土
広島大学考古学研究室蔵

【画像使用に際しての注意事項】

- ◆本展覧会の広報用としての使用に限ります。
- ◆画像の掲載には、各作品のキャプションを明記してください。
- ◆画像の加工（作品の切り抜き、着色、文字載せ等）はご遠慮ください。
- ◆基本情報、画像使用の確認のため、グラ・原稿の段階で「企画・事業課」までお送りくださいます
ようお願いいたします。
- ◆ご掲載媒体、もしくはURLを「企画・事業課」までご送付いただきますようお願いいたします。

貴社名：

媒体名：

所在地：〒

媒体種別： 新聞・雑誌・フリーペーパー・テレビ

ラジオ・WEB・その他（ ）

担当者名：

掲載予定日：

E-mail アドレス：

参考 URL：

TEL :

FAX :

読者プレゼント招待券： 組 名分